

1. ユニバーサルドライバー研修
2. 「バリアフリー社会におけるこれからのタクシーの役割」セミナー
3. 愛知県と防災協定締結
4. 人材確保セミナー&求職者説明会
5. スマホアプリ説明会
6. 地域対策特別委員会

平成29年11月6日 第6回「名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会」
(名古屋交通圏タクシー活性化協議会「仮称」)

1. ユニバーサルドライバー(UD)研修(取組全体概要)

◆「名古屋タクシー協会」ユニバーサルドライバー研修実施機関の認証を受ける(第107号)

◆ 認証機関≪ユニバーサルドライバー研修推進実行委員会≫ (一財)全国福祉輸送サービス協会
(一社)全国ハイヤー・タクシ連合会
※研修内容の統一・標準化

ユニバーサルドライバー育成体制整備

タクシー車両のUD化とともに運転者も「全員」ユニバーサルドライバー

目標

名古屋のタクシーードライバー
「全員・ユニバーサルドライバー」

具体的育成方法

①名古屋タクシー協会が実施する「UD研修」

- ✓ 第一回開催(平成29年8月16日~18日)「3日間」開催(今後、継続的開催)
- ✓ 名古屋タクシー協会会員タクシー事業者所属運転者等「185名受講」
- ✓ 国土交通省及び名古屋市の取組み(UDドライバー育成)と連携した研修
- ✓ 運転者に限らず管理者(運転者教育・指導担当者)の受講 ⇒ 社内研修の充実

既存運転者
管理者等

②名古屋タクシー運転者登録センターが実施する「UD研修」

- ✓ 「タクシー業務適正化特別措置法」の規定に基づく運転者登録制度(全国)
※登録を受けることなくタクシーに乗務することが禁止されている。
- ✓ 国土交通省の認定を受けて「運転者登録・講習・試験」実施中
- ✓ 運転者登録要件「国土交通省の認定を受けた講習受講及び試験合格」
- ✓ 「ユニバーサルドライバー研修(7時間)」を組み込んだ認定講習(準備中)
- ✓ 現行運転者登録講習「3日間」⇒「4日間」に延長して「UD研修」実施
- ✓ 全ての新任ドライバーを対象に「UD研修」受講を運転者登録要件(義務)
- ✓ 運転者登録講習・「毎週」開催(年間約600名以上の受講実績)

新任運転者の
UD研修
受講義務化

既存運転者等

- ・既存運転者の同時受講(4日目1日のみ)
- ・運転者以外(管理者)受講

③会員タクシー事業者が実施する「UD研修」

- ✓ ユニバーサルドライバー研修実施機関の認証を受けた
タクシー会社が自社ドライバーを対象に実施する「UD研修」(②開始後は新任運転者を除く)
- ✓ 名古屋タクシー協会会員タクシー会社「4社」が認定を受けて実施中(平成29年10月18日現在)

既存運転者・管理者等

2. 「バリアフリー社会におけるこれからのタクシーの役割」セミナー

1. (開催日)平成29年11月13日(月)
2. (場 所)名古屋市昭和区愛知県自動車会議会館・5階会議室「定員120名」
3. (対象者)タクシー協会会員事業者(運転者教育・指導担当者「管理者」)
 - ・名古屋タクシー協会会員1社1名の受講を義務
 - ・愛知県タクシー協会会員事業者(任意)
4. (開催趣旨・目的)
 - ①ユニバーサルドライバー研修受講啓発(UD研修受講の必要性、接遇全体の向上)
 - ②タクシー会社の運転者教育体制・運転者教育の充実
 - ③ドライバーに対するユニバーサルドライバー知識の教育・伝授
5. (プログラム)
 - ①「バリアフリー社会におけるこれからのタクシーの役割」
 - 講師:中部大学工学部都市建築工学科「磯部友彦教授」
 - ②「タクシー運転者に必要な障害者対応知識について(障害者の立場から)」
 - 講師:名古屋市身体障害者福祉連合会「橋井会長」※
 - ※「名古屋市身体障害者福祉連合会会長橋井氏」は本協議会委員
 - ③「障害者差別解消法と名古屋市障害者差別相談センターについて」
 - 講師:名古屋市障害者差別相談センター「神村センター長」
6. (後 援)中部運輸局 (主催)名古屋タクシー協会(共催)愛知県タクシー協会
7. (その他)「名古屋のタクシー日本一戦略」に掲げられた取組み

3. 愛知県と防災協定締結

- ◆ 平成29年3月17日、愛知県知事と「防災協定締結」《写真》
- ◆ 名古屋タクシー協会及び愛知県タクシー協会
- ◆ 災害時のタクシー車両を活用した緊急輸送等を目的
- ◆ 「ドア・ツー・ドア」「24時間」「狭隘な道路等」等々のタクシーの強み活かした緊急時の避難輸送に対応
- ◆ UDタクシー「JPNタクシー」の導入・普及で、「高齢者」「身障者」等の緊急時の輸送に活躍することが期待されている
- ◆ タクシーの「地域・社会」「公共」への貢献
- ◆ 公共交通としての使命



4. 人材確保セミナー & 求職者説明会

【タクシー業界の問題意識(課題)】

➤ 人材不足(運転者不足)

⇒ 車両の稼働率低下(総営業収入減少)

➤ 運転者の高齢化(平均年齢は60歳)

⇒ 多くは年金受給者(給与調整)

- ✓ タクシーは不人気な職種
- ✓ 求人がない、求職者が振り向かない
- ✓ 労働条件が悪い(給与、勤務時間、事故等の不安)
- ✓ 実は「良い所多々あり」
- ✓ 情報不足(正しい情報が無い・届いていない)

効果的な
求人対策

地域の交通を維持するための「担い手」の確保が喫緊の課題

- ◆ 愛知労働局(ハローワーク)様の声掛けにより、タクシー専門の求職者合同説明会開催(平成29年9月27日・ハローワーク中)
- ◆ 若手ドライバー・女性ドライバーから「入社動機・体験談・タクシーの魅力等」を披露するセミナー同時開催
 - ⇒ ドライバーから見たタクシー運転者の魅力、やりがい、実態等情報提供(生の情報を直接伝えてタクシーの魅力をPR)
- ◆ 参加タクシー会社 … 13社
- ◆ 参加者(求職者) … 28名(約1/4は女性)
- ◆ 参加者アンケート結果
 - ⇒ 色々な話を聞くことができた。これからもやって欲しい。参考になった。等

5. スマホアプリ説明会(スマホアプリ導入に当たっての取組み)

- 「資料4」タクシー業界の取組みについて(全タク連11項目の取組み)では、スマホアプリの開発・導入を前提にした取組みが多数含まれている
- (全タク連11項目に掲げられた取組みを進めるにあたり、) スマホアプリの導入が不可欠、かつ、利用者利便・タクシーサービス向上には無くてはならない取組み
- 東京の「事前確定運賃」実証実験に参加したアプリプラットフォーム(今冬に予定する「相乗実証実験」に参加予定アプリ)による「アプリ説明会」開催

- 開催日時 … 平成29年8月22日(火)
- 主催者 … 中部タクシー協会連合会、名古屋タクシー協会(共催)
- 参加者 … 名古屋タクシー協会会員事業者(54名)

※ 中タク連(中部管内各県タクシー協会)会員事業者(62名)

※ 「名古屋タクシー協会会員の内、中タク連役員(11名)は中タク連(合計上)6名」

- ◆ 地方では「相乗りアプリ」の利用価値・重要性に着目
- ◆ 乗合タクシーの進化形、新規需要喚起、低廉価格での利用、生産性向上
- ◆ 「名古屋のタクシー日本一戦略」の取組み(スマホアプリ関係)を推進するための情報提供・説明会開催
- ◆ アプリの開発状況、国土交通省「運賃制度等の規制緩和」等の導入環境整備
- ◆ 各社・グループ・提携先の経営判断により適宜導入

6. 地域対策特別委員会(名古屋タクシー協会)「議事(3)資料11再掲」

- 自治体、議会・議員、地域の交通問題等に対応するための特別委員会を設置して体制強化
- タクシー協会あげて「地域との連携・関係強化」を図って「地域の交通に関する提案」

1. 名古屋タクシー協会「地域対策特別委員会」組織図 & 役割 資料11

